

金澤新所長をリーダーに これからも信頼される発電所を目指していきます

東通原子力発電所長を務めてまいりました佐藤 敏秀が6月26日付で青森支店長として異動し、後任に、金澤 定男が着任いたしました。
新旧所長より一言ご挨拶申し上げます。



金澤新所長より

所長に就任いたしました金澤でございます。東通には6年ぶりに戻ってまいりました。今回は平成14年8月から6年間勤務し、建設、試運転から営業運転開始、第二回定期検査まで従事いたしました。

(プロフィール)

氏 名：金澤 定男／かなざわ さだお
出身地：茨城県北茨城市
職 歴：昭和58年4月入社
平成14年8月東通原子力発電所建設所技術課長
平成17年6月東通原子力発電所建設所副所長
平成20年8月東京支社副支社長
平成24年6月原子力部部長
平成26年6月執行役員東通原子力発電所所長
趣 味：スポーツ、読書



発電所の建設は初めての経験でしたので、東通原子力発電所には我が子のような愛着があります。また、東通村のすばらしい海の幸、山の幸を食べるのも楽しみでわくわくしています。早く皆さまのお役に立てる電気を作りたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

佐藤前所長より

発電所で働く全員の力を合わせて、現在、様々な安全対策の設計・工事を進めておりますが、6月10日に原子力規制委員会に、東通原子力発電所の再稼働に係る申請をすることができました。これも、東通村をはじめ地元の皆さまにあたたかく支えていただいたおかげと心から感謝申し上げます。

私は、この度、青森支店に異動することになりましたが、今後も発電所と連携を密にし、一日も早い再稼働の実現をサポートしてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。



7月1日の人事異動に伴い、28名が転出し、24名が新たに東通原子力発電所の一員に加わりました。

新所長をはじめ所員一丸となって、これからも信頼される発電所を目指すとともに、今後とも、更なる安全レベルの向上に向け、ハード・ソフトの両面から継続して安全対策に取り組んでまいります。



所員一丸となって、安全対策に取り組んでいきます

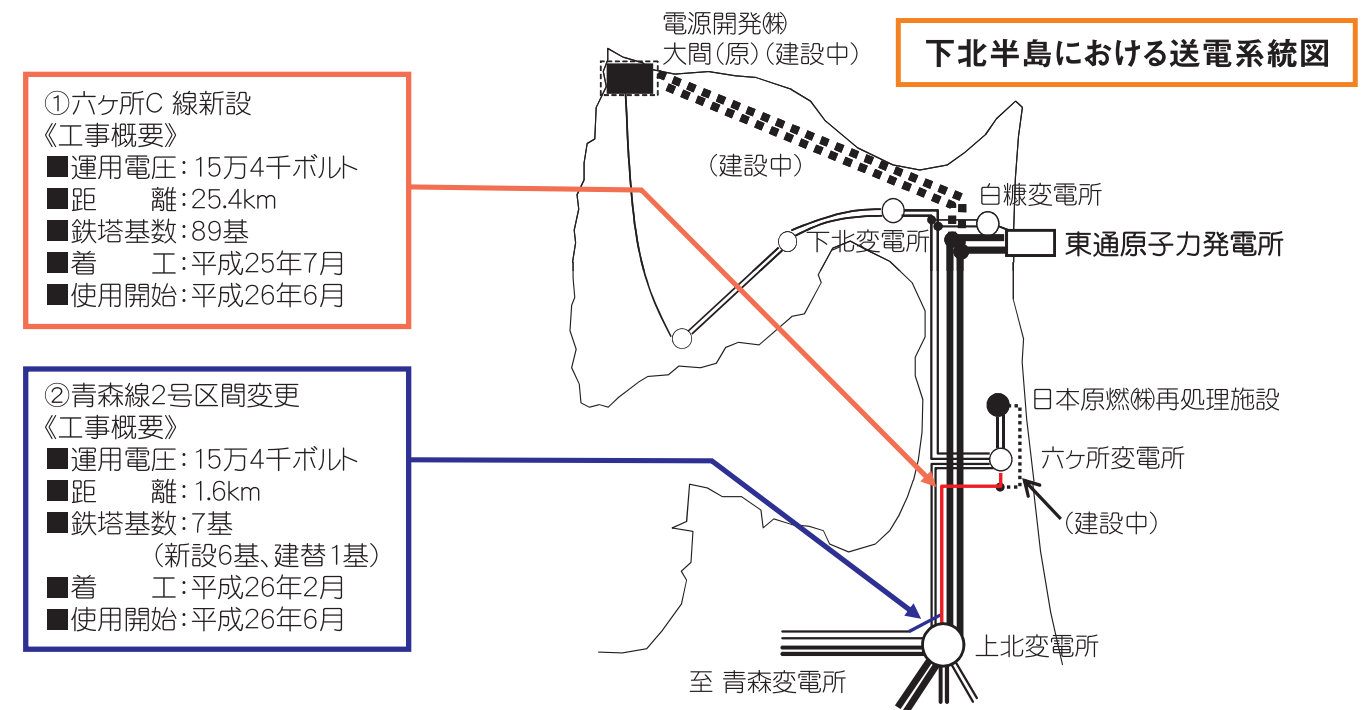
外部電源の信頼性向上を図りました

東日本大震災において、東京電力福島第一原子力発電所が、外部電源*の喪失などにより深刻な事態となったことを受け、当社は、平成26年6月、上北変電所を経由しないで電力供給が可能な送電線を新設し、下北半島の原子力施設全体の外部電源の信頼性向上を図りました。

これにより、万が一、上北変電所の機能が全て停止した場合でも、下北半島の原子力施設全体への送電が可能となりました。

当社といたしましては、今後とも、原子力施設の更なる安全性向上の取り組みを継続的に進めてまいります。

※外部電源とは、送電系統から供給される電気のこと。



国道338号沿道清掃を実施しました

東通原子力発電所と協力会社で組織する東通原子力発電所安全衛生推進協議会は、平成26年6月3日、発電所周辺の国道338号の沿道清掃(約4km)を実施しました。

当日は、発電所および協力会社の社員54名が参加し、可燃ゴミや空き缶など、約140kgのゴミを回収しました。

同協議会では、今後も沿道清掃を通じて、地域の環境美化活動に取り組んでまいります。

